

宮崎日日新聞

発行所
宮崎日日新聞社
宮崎市高千穂通1丁目
電話0985-2371
郵便番号 880
振替口座 鹿児島 10521
©宮崎日日新聞社 1982



中国のソ連接近についての講演があった宮崎政懇話会

ソ連に傾斜する中国

宮崎政懇 中嶋教授が講演

「中国などの要害は」と思う。(中国などの要害は) 全然取り上げる必要がないと、主権の侵害たという議論は短絡的だ。

▽増井経夫・金沢大名書教授 (東洋史)

(中国などの) 批判はよく分かる。ハラは立たせたらう。部

修正の是非などについて公式のコメントはできないが、歴史

個人の見解だか「優越」でも自然に開く。記述の順序もある。だから、まるでできないわ。けどもないだろう。

▽山内一夫・学習院大教授 (法学)

修正問題について「外国から言われて直すのは」という硬直的な考えは取らなくてもいいのではないかと思う。

第八十七回宮崎政懇話会 (事務局・宮日カルチャセンタ)は、十九日正午から宮崎市のホテルフェニックスで開かれた。講師は東京外国語大の中嶋雄雄教授で、テーマは「中国と日本」。中嶋教授は「中国の指導部は毛沢東政治を全面的に否定、世界戦略にも変化が起きている。ソ連に傾斜し、よりオソドックスな社会主義の権力に回帰しつつある」と強調した。

中嶋教授は文化大革命後の中国指導者層に触れ、「いまの中国

国を担っているのは夫脚させられた劉少奇ライン。そのころの指導者が次々に復権している」。講師は東京外国語大の中嶋雄雄教授で、テーマは「中国と日本」。中嶋教授は「中国の指導部は毛沢東政治を全面的に否定、世界戦略にも変化が起きている。ソ連に傾斜し、よりオソドックスな社会主義の権力に回帰しつつある」と強調した。

同日の出席者次の通り。(順不同、敬称略)

- 日高信輔(トヨタカローラ宮崎) 安藤年春(宮崎柑桔社長) 矢野連(合専務理事) 山西康弘(山西水産社長) 井手脇智乃(向洋学園理事長) 原田佳尋(エムピーシー社長) 日高安徳(宮崎建築設計事務所社長) 西初信(高是建築事務所社長) 岩下哲夫(宮崎住宅ローン保証社長) 幣島清次(九州ジスコ社長) 森元治(宮銀ビジネスサービス社長) 田中鉄市(光洋紙工業社長) 肥後兼行(県酪農業協同組合連合会専務理事) 川崎真子(川崎観光専務理事) 落合正行(宮崎沖電気取締役) 小谷政一(宮崎日本大学高等学校理事長) 松原和夫(松原歯科医院院長) 筒井英嗣(県広報誌編集長) 日高近志(宮日広告社長) 河野和夫(宮崎日日新聞販売社長) 田中善次郎(宮日カルチャセンタ社長)
- 藤岡義貴(県医師会事務局長) 荒武秀昌(宮崎交通常務) 白石成雄(宮崎相互銀行常務) 田井順之(副知事) 曾根敏嗣(宮崎市税務部長) 佐藤源和(県警察本部警備第一課長) 溝俣幸雄(県本務局長) 丸井太郎(フェニックス国際観光常務) 砥砂猛敏(宮崎瓦斯常務) 平島久利(志多組常務) 田中正雄(第一産業会長) 戸高裕之(文宣社長) 吉野真一(宮崎信用金庫理事長) 熊本林(県農協中央会総務局長) 山崎弘(県歯科医師会長) 中武重晴(宮崎トヨタ自動車常務)
- 片川至幸(旭化成工業宮崎事務所係長) 川崎義男(川崎紙文具社長) 村上幸一(県信用保証協会会長) 森清水(森業品副社長) 小原隆章(宮崎電気通信部長) 岩切秀雄(ユーエムケイエジヤン) 常務 上村宗士(県環境衛生営業指導センター) 理事 鳥原厚一(宮崎高等工科学校) 梅村好則(旭製材所代表社員) 江口秀明(日本生命宮崎支社長) 松本孝章(日本通運宮崎支店係長) 首藤五生(九州電気工事宮崎支店経理副長) 公社宮崎支局長)